

平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月7日

上場会社名 株式会社ディーバ  
 コード番号 3836 URL <http://www.diva.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森川 徹治  
 (氏名) 春日 尚義

TEL 03-5782-8600

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	4,832	64.2	382	18.5	367	23.1	189	24.2
24年6月期第3四半期	2,942	29.0	322	382.2	298	450.8	152	—

(注) 包括利益 25年6月期第3四半期 192百万円 (25.1%) 24年6月期第3四半期 153百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	80.90	—
24年6月期第3四半期	65.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第3四半期	4,959	1,705	34.4
24年6月期	3,502	1,532	43.7

(参考) 自己資本 25年6月期第3四半期 1,705百万円 24年6月期 1,532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	8.00	8.00
25年6月期	—	0.00	—		
25年6月期(予想)				9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,440	57.0	450	9.6	430	11.8	230	20.4	98.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社ジール 、除外 1社 (社名)

\*詳細は、(添付資料)5ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期3Q	2,347,000 株	24年6月期	2,347,000 株
② 期末自己株式数	25年6月期3Q	79 株	24年6月期	79 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期3Q	2,346,921 株	24年6月期3Q	2,346,921 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(以下、当第3四半期)におけるわが国経済は、新政権の金融政策の効果による景気回復への期待が高まり、円安・株高傾向の状況となってきたものの、一方で貿易収支の赤字拡大や新興国の経済成長の鈍化等不安定な要素も含みながらの展開となっております。

ソフトウェア・情報サービス業界におきましても、企業収益の改善の見通しに伴い、リーマンショック、東日本大震災などにより先送りしてきたシステム更新や新規の投資案件は見られますが、多くの企業はIT投資に対する慎重な姿勢を崩しておらず、市場での受注競争も依然として厳しい状況が続いております。

かかる状況の下、当社グループは、より一層の高収益体質をめざし、継続して生産性の向上とコスト削減という課題に取り組むつつ、①IFRS(国際財務報告基準)でも必要となるお客様の決算早期化や効率化、②企業グループ情報を有効活用したいとのニーズに応えるグループ統一会計、管理連結・連結経営管理並びに当社製品のクラウド環境での提供、③決算業務を一括して引受けるアウトソース・サービスなど業務領域における多様なソリューションの提供を通じ、大型案件をはじめとする受注の拡大、パートナー企業との連携強化による販売機会の拡大をグループ全体で推進してまいりました。

また、当社の掲げるCPM(Corporate Performance Management:企業業績管理、連結管理会計・連結経営管理)領域の実装・提供能力の強化を目的として、BI(Business Intelligence)やビッグデータ処理に長けた株式会社ジールを新たにグループに加え、業績と業容の拡大を図ると共に、IT産業の成長分野への移行と取り組みを強化してまいりました。

この結果、当第3四半期の連結業績は、売上高4,832,784千円(前年同四半期比64.2%増)、営業利益382,414千円(前年同四半期比18.5%増)、経常利益367,527千円(前年同四半期比23.1%増)、当四半期純利益189,871千円(前年同四半期比24.2%増)を計上することになりました。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

<ライセンス販売>

新規案件は堅調に推移したものの、既存顧客からの大型受注が減少したこともあり、ライセンスの売上高は371,099千円(前年同四半期比13.1%減)となりました。

<コンサルティング・サービス>

既存大規模顧客からの大型案件の検収が集中した事や、株式会社ジールの売上が第2四半期より寄与していることもあり、コンサルティング・サービスの売上高は2,793,885千円(前年同四半期比130.3%増)と前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

<サポート・サービス>

製品保守売上は継続利用率の高さを背景に堅調に増加推移しており、サポート業務の顧客満足度向上に注力することで顧客基盤の安定・強化に努めております。一方、決算業務アウトソーシングサービスも旺盛な顧客ニーズにより増加推移していることと、株式会社ジールの保守売上も寄与したことでサポート・サービスの売上高は1,483,866千円(前年同四半期比30.0%増加)となりました。

<情報検索サービス>

新規法人顧客の開拓と検索機能の拡張等による顧客基盤の拡大と強化に努めた結果、情報検索サービスの売上高は183,932千円(前年同四半期比14.0%増)となりました。

なお、当第3四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

① 受注状況

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期		当第3四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	426,854	—	371,099	—	△55,754	—
コンサルティング・サービス	1,253,686	444,533	3,125,971	774,041	1,872,284	329,508
サポート・サービス	1,037,643	493,897	1,453,837	619,408	416,193	125,510
情報検索サービス	146,427	30,025	160,019	29,548	13,591	△476
合計	2,864,612	968,456	5,110,928	1,422,998	2,246,315	454,541

② 販売実績

	前年同四半期	当第3四半期	増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
ライセンス販売	426,854	371,099	△55,754	△13.1
コンサルティング・サービス	1,213,256	2,793,885	1,580,629	130.3
サポート・サービス	1,141,170	1,483,866	342,696	30.0
情報検索サービス	161,366	183,932	22,565	14.0
合計	2,942,648	4,832,784	1,890,136	64.2

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は、4,959,163千円(前連結会計年度末比1,456,628千円増加)となりました。これは主に、株式会社ジールの事業承継に伴い、現金及び預金は238,663千円減少したものの、受取手形及び売掛金の増加897,231千円、仕掛品の増加60,201千円などにより流動資産が867,645千円増加したことに加え、のれんが507,673千円増加したこと、並びに開発及び保守部門を中心とする新事業所の敷金保証金の増加31,606千円などにより固定資産が589,931千円増加したことによるものです。

負債合計は、3,253,507千円(前連結会計年度末比1,283,145千円増加)となりました。これは主に買掛金の増加349,403千円、グループの増加運転資金需要に応えるための短期借入金の増加473,000千円、一年内返済予定の長期借入金の増加129,160千円、未払法人税等の減少108,057千円などにより流動負債が852,558千円増加し、長期借入金の増加426,825千円等により固定負債が430,586千円増加したことによるものです。

また、純資産合計は1,705,656千円(前連結会計年度末比173,483千円増加)となりました。これは主に、四半期純利益189,871千円の計上と剰余金の配当18,775千円によるものです。

自己資本比率は34.4%と前連結会計年度末の43.7%より9.3ポイントの減少となりました。これは主にグループ拡大に伴う増加運転資金、冬期賞与や税金の支払いといった季節性資金、並びに2月の新事業所の開設や株式会社ジールのオフィス移転に伴う支出等の資金需要に対して、短期借入金で一時的に賄うことを予定し、意図的に流動性を厚くしていた結果によるものですが、第4四半期以降は

グループ全体の余剰資金を効率的に運用するとの方針下、短期借入金を早期に全額返済し、自己資本比率40%台への回復を図る意向です。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ238,663千円減少し、1,883,324千円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は457,254千円となりました。(前年同四半期は161,381千円の獲得)

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益367,527千円、減価償却費80,823千円、仕入債務の増加額349,403千円、未払金及び未払費用の増加額98,355千円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額896,993千円、前受収益の減少額168,705千円、法人税等の支払額321,475千円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は673,648千円となりました。(前年同四半期は38,009千円の使用)

支出の主な内訳は、株式会社ジールの事業承継に係る支出546,278千円、有形固定資産の取得による支出78,638千円、事務所移転及び新事業所開設に伴う敷金及び保証金の差入による支出33,406千円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は890,012千円となりました。(前年同四半期は93,036千円の獲得)

収入の内訳はグループの運転資金需要を賄う目的で、新たに短期借入を実行したことによる収入488,000千円と買収資金として調達した長期借入による収入600,000千円であり、支出の主な内訳は、社債の償還による支出105,000千円、長期借入金の返済による支出44,015千円、配当金の支払額18,775千円等です。

内部留保は、売上増に伴う運転資金需要や投資活動を賄うには十分な水準であり、また取引金融機関とも円滑な関係を築いており、安定的な資金の調達・運用を行っております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績につきましては、当第3四半期連結累計期間の推移を反映して、従来の予想を売上高及び各利益ともに上方修正をいたしました。これは主に第2四半期から新たにグループに加わった株式会社ジールの業績が堅調に推移し、連結業績に寄与しているためです。

政権交代の経済環境への影響や、お客様のIT投資を促す企業収益動向といった市場を取巻く影響等を見極め、適切かつ迅速な対応を行うとともに、経営統合によるシナジーの追求とより一層の成長への施策を実現することに努めてまいります。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、平成24年7月20日に完全子会社「ジール分割準備株式会社」を設立し連結範囲に含めております。

なお、当該子会社は平成24年10月1日を効力発生日とする吸収分割により株式会社DHI（平成24年10月1日付で株式会社ジールから商号変更）の情報システム事業を承継し、同日株式会社ジールに商号を変更しております。

これにより、連結子会社の数は3社から4社となっております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,121,988	1,883,324
受取手形及び売掛金	669,810	1,567,041
仕掛品	94,424	154,626
原材料及び貯蔵品	6,875	11,885
その他	170,428	314,295
流動資産合計	3,063,526	3,931,172
固定資産		
有形固定資産	115,382	186,418
無形固定資産		
のれん	1,276	508,950
ソフトウェア	65,217	42,442
その他	678	1,021
無形固定資産合計	67,172	552,413
投資その他の資産		
敷金及び保証金	204,008	235,614
その他	48,122	50,170
投資その他の資産合計	252,130	285,785
固定資産合計	434,685	1,024,617
繰延資産		
社債発行費	4,323	3,374
繰延資産合計	4,323	3,374
資産合計	3,502,535	4,959,163
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	95,795	445,198
短期借入金	65,000	538,000
1年内償還予定の社債	135,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	—	129,160
未払金及び未払費用	92,588	196,926
未払法人税等	222,223	114,165
前受収益	742,663	680,720
賞与引当金	194,220	280,431
役員賞与引当金	47,480	44,079
受注損失引当金	19,450	5,448
その他	136,435	109,283
流動負債合計	1,750,855	2,603,414
固定負債		
社債	150,000	120,000
長期借入金	—	426,825
資産除去債務	67,867	95,089
その他	1,639	8,178
固定負債合計	219,506	650,093
負債合計	1,970,362	3,253,507



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	1,021,908	1,193,004
自己株式	△56	△56
株主資本合計	1,535,451	1,706,547
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△126	70
為替換算調整勘定	△3,151	△961
その他の包括利益累計額合計	△3,278	△891
純資産合計	1,532,173	1,705,656
負債純資産合計	3,502,535	4,959,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	2,942,648	4,832,784
売上原価	1,487,051	2,883,561
売上総利益	1,455,597	1,949,222
販売費及び一般管理費	1,132,890	1,566,808
営業利益	322,706	382,414
営業外収益		
受取利息	306	346
業務受託料	—	200
未払配当金除斥益	249	128
営業外収益合計	555	674
営業外費用		
支払利息	4,961	8,562
支払手数料	17,039	5,079
その他	2,787	1,918
営業外費用合計	24,787	15,561
経常利益	298,474	367,527
税金等調整前四半期純利益	298,474	367,527
法人税、住民税及び事業税	180,929	217,279
法人税等調整額	△35,354	△39,623
法人税等合計	145,574	177,656
少数株主損益調整前四半期純利益	152,900	189,871
四半期純利益	152,900	189,871

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	152,900	189,871
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	865	197
為替換算調整勘定	△38	2,189
その他の包括利益合計	826	2,387
四半期包括利益	153,726	192,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,726	192,258
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	298,474	367,527
減価償却費	106,444	80,823
たな卸資産評価損	2,250	750
社債発行費償却	948	948
のれん償却額	1,914	57,826
引当金の増減額(△は減少)	152,290	60,340
受取利息及び受取配当金	△306	△346
支払利息	4,961	8,562
支払手数料	17,039	5,079
売上債権の増減額(△は増加)	△201,586	△896,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48,290	△7,659
仕入債務の増減額(△は減少)	23,163	349,403
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△51,672	98,355
前受収益の増減額(△は減少)	△124,389	△168,705
その他	19,428	△83,717
小計	200,670	△127,804
利息及び配当金の受取額	306	346
利息の支払額	△4,426	△8,319
法人税等の支払額	△35,168	△321,475
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,381	△457,254
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△16,856	△78,638
有形固定資産の売却による収入	—	101
無形固定資産の取得による支出	△9,129	△10,965
敷金及び保証金の差入による支出	△12,023	△33,406
事業譲受による支出	—	△546,278
保険積立金の積立による支出	—	△4,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,009	△673,648
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	290,000	488,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△15,000
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△5,000	△44,015
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△21,051	△10,701
社債の償還による支出	△45,000	△105,000
支払手数料の支出	△14,178	△4,495
配当金の支払額	△11,734	△18,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	93,036	890,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,361	2,226
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	217,770	△238,663
現金及び現金同等物の期首残高	1,544,216	2,121,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,761,987	1,883,324

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。